令和５年８月３１日　高江こども園

９月は夏の疲れが出やすい時期です。また、朝夕の気温差による体の冷えからおなかを壊したり発熱したりすることもあります。睡眠と栄養をとり、体調管理に心がけていきましょう。「なんだかいつもと違うかな？」というちょっとした変化に目を向け、悪化しないように連携をとっていきましょう。

★９月の行事予定★

日	月	火	水	木	金	土
					１身体測定 交通教室	2
3	4　サッカー （🐘）	5	6	7　英語教室 （🐼～🐘）	8	9
10	11	12	13 体操教室 （🐤～🐘）	14 避難訓練	15	16
17	18 敬老の日 休園	19	20 保育サポート	21 英語教室 （🐰～🐘）	22	23 秋分の日 休園
24	25 サッカー （🐘）	26	27 体操教室 （🐼～🐘）	28	29	30

★10 月の行事予定★

７日（土）秋の親子１日遠足(柳山アグリランド)自家用車での参加となります。

１２日（木）、２６日（木）英語教室

１３日（金）、１８日（水）、２５日（水）体操教室

１６日（月）、２３日（月）サッカー教室

防災の日（9月1日）

防災の日は、関東大震災の教訓を忘れないという意味と、台風への心構えも含めて制定されました。災害が発生したときの避難場所や家族間での連絡方法など、この機会に話し合って確かめておきましょう。地域のことをよく知る機会にもなります

かぜの時にお風呂に入っても大丈夫？

熱がなければ入っても大丈夫です。かぜの時のお風呂は、疲れを取るためではなく、皮膚を清潔にすることが目的なので、汗や汚れが取れれば十分です。体力の消耗を防ぐため、お湯の温度は上げ過ぎず、湯冷めしない環境をつくりましょう。お子さまが嫌がる時は無理にお風呂に入れるのはやめましょう。

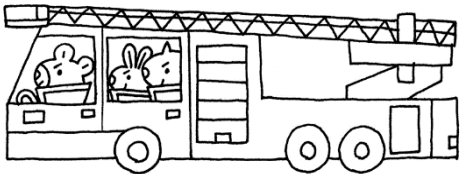
９月生まれのおともだち

きりん組(５さい)　　かのんさん
ぱんだ組(４さい)　　みやびさん

※お誕生会は７月・８月生まれのお友だちと一緒におこないました。

9月9日は救急の日

ケガにつながらない　備えをしましょう



家庭内で起こりやすい事故として、誤飲があります。煙草の吸殻・電池・薬等危険なものは子どもの手の届かない場所に保管することが基本です。また、お風呂での溺水も多く、バスタブに水はためないや浴室には鍵を掛けるなどの対策が必要です。
自分の子どもの発育を知り、現在どれくらいのことが出来るのかをよく知らないことから事故は起こります。子どもはあっという間に大きくなり、歩きはじめ、走り、よじ登り、飛び上がり、全てのものに興味を持つようになります。この頃は一生のうちでも、最も怪我の多い時期です。
しかし、まだ自分で身を守ることはできませんから、保護者がいつも事故が起こりうることを忘れず、子どもを事故から守りましょう。

秋分の日

「秋分の日」は、「祖先をうやまい、亡くなった人々をしのぶ日」として、１９８４(昭和２３)年に制定された祝日です。昼と夜の長さが同じくらいになり、この日を境に少しずつ昼が短くなっていきます。秋の変化を感じながら、ご先祖さまを大事に思って過ごしてみましょう。

虫の声、わかるかな？

秋になると、コオロギの「コロコロコロ」、マツムシの「チンチロチンチロ」、スズムシの「リーンリーン」など、かわいい虫の声が聞こえてきます。これらは前羽をこすり合わせている音で、鳴くのはオスだけです。自分の縄張を示すとき、けんかのとき、メスを呼ぶときなどに鳴くようです。虫によって鳴き声が違うので、当てっこして遊ぶのもいいですね。

秋は薄着の服装で

９月も後半になると肌寒く感じる朝が増え、ついつい子どもに厚着をさせたくなります。しかし、本格的な寒さを迎える前のこの時期に薄着の習慣を付けておけば、かぜを引きにくい体になります。外気を肌で直接感じることで自律神経が整い、病気への抵抗力が高まるからです。“大人より１枚少なめ”を目安に、薄手の衣服を重ねるなどして、じょうずな体温調節を行いましょう。